

第5学年 国語科学習計画（シラバス）

【第5学年 国語科の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。
- (3) 言葉がもつよさ認識するとともに、すすんで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合っている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 銀色の裏地 ② 漢字の成り立ち／漢語・和語・外来語 ③ 季節の言葉（春の空・夏の夜） ④ きいて、きいて、きいてみよう ⑤ 見立てる／言葉の意味から分かること ⑥ 敬語 ⑦ 日常を十七音で ⑧ 古典の世界 ⑨ みんなが過ごしやすい町へ ⑩ 同じ読み方の漢字 ⑪ 作家で広げるわたしたちの読書 ⑫ どちらを選びますか ⑬ 新聞を読もう ⑭ たずねびと	① 人物の心情や人物同士の関わりを捉え、印象に残ったことを伝え合う。 ② 児童が日常的に触れる漢字や言葉について、成り立ちや漢語・和語・外来語の視点から見直し、理解する。 ③ 枕草子の一説を例に、気象を中心的なテーマにしながら季節にかかわる言葉を集め、日本の文化に触れる。 ④ 話の意図を考えて聞き合い、聞くことについて考える。 ⑤ 文章の要旨を捉え、自分の考えを発表する。 ⑥ 敬語の使い方を知り、実際に使えるように練習する。 ⑦ 言葉を選びすぐって俳句を作る。 ⑧ それぞれの古文の文章の大まかな内容を捉え、作品に表れている昔の人のものの見方や感じ方について理解し、声に出して読む。 ⑨ 調べたことを引用しながら正確に報告する文章を書く。 ⑩ 同音異義語や同訓異字に対する認識を深め、適切に漢字を使えるようにする。 ⑪ 本の選び方を振り返り、作家に着目して友達と本を紹介し合い読む。 ⑫ ミニディベートを通して、多面的に理由を考え、意見を伝え合う。 ⑬ 情報の読み取り方や、情報を発信する側の目的に応じた内容や工夫を理解する。 ⑭ 物語の全体像を捉え、考えたことを伝え合う。
2 学期	⑮ 方言と共通語 ⑯ 季節の言葉（秋の夕暮れ・冬の朝） ⑰ よりよい学校生活のために ⑱ 固有種が教えてくれること ⑲ 古典の世界 ⑳ やなせたかしーアンパンマンの勇氣 ㉑ あなたは、どう考える ㉒ 熟語の読み方 ㉓ 想像力のスイッチを入れよう ㉔ 複合語 ㉕ もう一つの物語 ㉖ 「子ども未来科」で何をする ㉗ 大造じいさんとガン	⑮ 方言と共通語の違いを理解する。 ⑯ 枕草子の一説を例に、気象を中心的なテーマにしながら季節に関わる言葉を集め、日本の文化に触れる。 ⑰ 互いの立場を明確にして話し合い、意見をまとめる。 ⑱ 資料を用いた文章の効果を考え、自分の考えが伝わるように資料を効果的に用いながら文章を書く。 ⑲ 漢文にふれ、音読を通して響きや調子を味わう。 ⑳ 伝記を読んで、出来事や描かれる人物の言動を正確に捉え、その生き方を理解し、自分の生き方について考える。 ㉑ 読み手が納得するような意見文を書く。 ㉒ 音読みと訓読みの組み合わせや、特別な読み方の熟語を探す。 ㉓ 事例と意見の関係を押さえて読み、考えたことを伝え合う。 ㉔ 二つ以上の言葉が結び付いて、一つの言葉になる言葉を見付ける。 ㉕ 読む人を意識して構成を考え、物語を書く。 ㉖ 事実と感想、意見と区別して、説得力のある提案をする。 ㉗ 情景や場面について描写や、登場人物の相互関係、心情に着目して読み、物語の魅力をまとめる。

身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 ・原因や結果など情報と情報との関係について理解して読むことができる。 ・比喩や反復などの表現の工夫に気付きながら読むことができる。 ・文章構成や展開について理解して書くことができる。	・ワークテスト ・ノート ・発言
思考・判断・表現	・事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えて話している。 ・話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら聞いている。 ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して書いている。 ・目的や意図に応じて、文章と図表を結び付けるなど論の進め方を考えながら読んでいる。	・ワークシート ・ノート ・発言
主体的に学習に取り組む態度	・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、積極的に話し合っている。 ・目的や意図に応じて、すすんで必要な情報を集めている。 ・文章全体の構成や展開を考え、すすんで文章を書いている。 ・すすんで読書に親しみ、分かったことや考えたことを話し合っている。	・観察 ・ワークシート

家庭へのお願い

○宿題の音読では、はっきりとつかえずに読めるようにしてください。

○学校や生活の中での話をしたり、お子さんの思いを聞いたりして対話する力を高めてください。

○漢字の宿題だけでなく、漢字小テストの前などは、学習計画を立てて、練習に取り組ませてください。

第5学年 社会科学学習計画（シラバス）

【第5学年 社会科の目標】

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民として自覚している。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 世界の中の国土 ② 国土の地形の特色 ③ 国土の気候の特色 ④ 暮らしを支える食糧生産	① 我が国の国土の様子について、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現することを通して、世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 ② 我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の地形の様子を捉え、国土の地形の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 ③ 我が国の国土の様子について、国土の気候に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国土の気候の様子を捉え、国土の気候の特色を考え、表現することを通して、我が国の国土の気候の概要を理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 ④ 我が国の農業や水産業における食料生産について、生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の概要を捉え、食料生産が国民に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
2 学期	⑤ わたしたちの生活と工業生産 ⑥ 情報化した社会と産業の発展 ⑦ 私たちの生活と森林	⑤ 我が国の工業生産について、工業の種類、工業のさかんな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで工業生産の概要を捉え、工業生産と国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、我が国ではさまざまな工業生産が行われていることや、国土には工業のさかんな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。 ⑥ 放送などの情報産業で働く人々について、情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞、インターネットなどの各種資料で調べたりして、まとめることで放送などの情報産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、放送などの情報産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを考えようとする態度を養う。 ⑦ 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、森林資源の分布や働きなどに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現することを通して、森林は、その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、国土の環境保全について、自分たちができることなどを考えようとする態度を養う。

身に付けさせたい力

評価の観点	社会科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・我が国の国土の位置や構成、領土の範囲などを大まかに理解するとともに、国土で発生する自然災害は国土の自然条件と関連が深いことや、森林資源が国土の環境保全などに重要な役割を果たしていること、公害から国民生活を守ることの大切さなどについて理解できる。 ・我が国の農業や水産業における食料生産や工業生産の概要、食料生産や工業生産を支える人々の工夫や努力、食料や工業製品が国民生活を支えていることなどを理解できる。 ・放送、新聞などの産業は国民生活に大きな影響を及ぼしていること、大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ国民生活を向上させていることなどを理解できる。 ・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりのいずれにおいても、国民生活との関連を考えることを通して、社会生活について理解できる。 ・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、地図帳や地球儀、統計などの基礎的な資料で調べることができる。	・復習プリント ・調べ学習 ・ワークテスト
思考・判断・表現	・複数の立場や意見を踏まえて、我が国の国土の自然環境などの特色やそれらと国民生活の関連、産業が国民生活に果たす役割、産業に関わる人々の働きや公害防止の取組の働き、貿易や運輸が工業生産に果たす役割、森林資源が国土の環境に果たす役割、国土の自然災害と自然条件との関連などを多角的に考えようとしている。 ・これからの農業や工業などの発展、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上などについて考えたり、国土の環境保全に関して課題を見だし、その解決のために自分たちができることを選択・判断したりしている。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味について考えたことや、社会への関わり方について選択・判断したことを文章で記述したり、資料などを用いて説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりしている。	・ワークシート ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	・学習問題を追究・解決するために、社会的事象について意欲的に調べたり、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたりして、調べたことや考えたことを表現しようとしている。 ・学習を振り返り、学習したことを確認するとともに、学習成果を基に生活の在り方やこれからの国家及び社会の発展について考えようとしている。 ・我が国の国土についての理解を踏まえて、国民生活の舞台である我が国の国土の自然などに対する愛情をもとうとしている。 ・我が国の産業についての理解を踏まえて、国家及び社会の一員としての自覚や、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために共に努力し、協力しようとしている。	・発言 ・ノート ・ワークシート

家庭へのおお願い

○日本全体を大きな観点で見つめます。国土・気候・食料・工業・情報という観点で、自分たちの生活している身の回りにあるものがどのように作られているのかを考えます。旅行で訪れた先の産業や親族の住む都道府県など、自分たちの住む東京都以外の地域に目を向けて共通点や相違点を見付けられるよう声を掛けてください。

○都道府県や地図記号を理解しておく必要があります。都道府県の位置が分かるように家庭学習を進めてください。

第5学年 算数科学習計画（シラバス）

〔第5学年 算数科の目標〕

- （１）整数や小数、分数の計算の意味を理解し、面積の公式や図形の体積、速さや割合について理解できる。平面図形と立体図形、面積、角の大きさや帯グラフ・円グラフについて理解できる。
- （２）図形的面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりしている。目的に応じて計算の仕方、図形を構成する要素と性質、伴って変わる二つの量の関係について、表や式を使って考えようとしている。目的に応じてデータを集め、表やグラフに表し、解決方法や多面的な見方で考えようとしている。
- （３）粘り強く考え、数を用いて考えることのよさに気付き、生活に生かそうとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 整数と小数 ② 直方体や立方体の体積 ③ 比例 ④ 小数のかけ算 ⑤ 小数のわり算 ⑥ 合同な図形 ⑦ 図形の角 ⑧ 偶数と奇数、倍数と約数 ⑨ 分数と小数、整数の関係	① ある数の10倍、100倍、1000倍、10分の1、100分の1などの大きさを小数点の位置を移して作る。 ② 体積の単位「立方センチメートル」「立方メートル」について知ること。立方体及び直方体の体積の計算による求め方を理解する。 ③ 簡単な場合について、比例の関係があることを知る。 ④ かける数が小数の場合のかけ算の意味について理解する。 ⑤ わる数が小数の場合のわり算の意味について理解する。また、あまりの大きさについて理解する。 ⑥ 図形の形や大きさが決まる要素について理解し、図形の合同について理解する。 ⑦ 三角形や四角形など多角形の内角の和について理解する。 ⑧ 整数は偶数と奇数に類別されることを知る。約数、倍数について知る。 ⑨ 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりする。
2 学期	⑩ 分数のたし算とひき算 ⑪ 平均 ⑫ 単位量あたりの大きさ ⑬ 四角形と三角形の面積 ⑭ 割合 ⑮ 帯グラフと円グラフ ⑯ 変わり方調べ ⑰ 正多角形と円周の長さ ⑱ 角柱と円柱	⑩ 分子と分母に同じ数をかけたりわったりしてできた分数は、元の分数と大きさが等しいことを理解する。異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ⑪ 平均の意味について理解する。 ⑫ 速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求める。 ⑬ 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を計算によって求める方法を理解する。 ⑭ 二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解する。百分率を用いた表し方を理解し、割合を求める。 ⑮ 円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解する。データを集め、統計的な問題解決の方法を知る。 ⑯ 数量の関係を表す式についての理解を深める。 ⑰ 円と正多角形の基本的な性質を知る。円周率の意味について理解し、それを用いる。 ⑱ 基本的な角柱や円柱について知る。

身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・整数、小数、分数の計算の意味と表し方を理解することができる。 ・面積の公式、図形の意味と性質、体積、速さ、割合、帯グラフについて理解することができる。 ・小数、分数の計算をし、図形的面積や体積を求めることができる。 ・表やグラフに表す技能を身に付けることができる。	・観察 ・ワークテスト
思考・判断・表現	・数の表し方や計算の意味を理解し、目的に応じた計算の仕方を考えている。 ・図形の構成要素と位置関係に注目し、図形の性質や大きさについて考えている。 ・伴って変わる数量の関係を、表や式で表して変化の法則を考えている。 ・目的に応じてデータを集め、表やグラフに表す。それを用いて問題解決をしたり、多面的な見方をしたりしている。	・観察 ・発言 ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	・数で表されたものを多面的に捉えようとしている。 ・粘り強く考えようとしている。 ・算数で学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	・観察

家庭へのお願い

○毎日の算数の宿題を確認してください。間違いをその場で把握し直すことにより理解につながります。また、分からない問題を教科書など活用しながら取り組むことにより定着につながります。繰り返し学習することによって既習事項の定着につながります。

○定規や分度器、コンパスなど算数科で活用する学習用具の適切な使い方をよく理解するように練習してください。繰り返し使うことにより、それぞれの用具の自分に合った使い方を見付けることができます。

○学習内容を活用する機会を作ってください。身の回りには算数で学習した内容を生かすことができる機会がたくさんあります。それらを示し、既習事項を活用しながら考える楽しさや喜びを感じさせていくと定着につながります。

第5学年 理科学習計画（シラバス）

【第5学年 理科の目標】

- （１）自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動を通して物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- （２）自然の事物・現象から見いだした問題についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想するといった問題解決の力を伸ばそうとしている。
- （３）問題解決の力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 天気の変化 ② 植物の発芽と成長 ③ 魚のたんじょう ④ 花から実へ ⑤ 台風と天気の変化 ⑥ 流れる水のはたらき	① 天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解する。 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。 ② 植物は、種子の中の養分を基にして発芽することを理解する。 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していることを理解する。 植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解する。 ③ 魚には雌雄があり、生まれた卵は日が経つにつれて中の様子が変化してかえることを理解する。 ④ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解する。 ⑤ 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解する。 ⑥ 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解する。 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解する。 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解する。
2 学期	⑦ 物のとけ方 ⑧ 人のたんじょう ⑨ 電流がうみ出す力 ⑩ ふりこのきまり	⑦ 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことを理解する。 物が水に溶ける量には、限度があることを理解する。 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解する。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことを理解する。 ⑧ 人は、母体内で成長して生まれることを理解する。 ⑨ 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極も変わることを理解する。 電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを理解する。 ⑩ 振り子が1 往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによって変わることを理解する。

身に付けさせたい力

評価の観点	理科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・観察や実験を通して、様々な事象について理解することができる。 ・実験や観察の仕方を知り、正しく行うことができる。	・ワークテスト ・ノート ・観察 ・ワークシート
思考・判断・表現	・予想や仮説を基に、解決方法を発想している。 ・観察や実験の条件に気付き、「変える条件」と「変えない条件」を明確にして、実験計画を立てている。 ・実験結果を考察し、結論を導き出している。	
主体的に学習に取り組む態度	・自然や科学的な事象について興味をもち、すすんで観察や実験を行っている。 ・結論からさらに発展的に物事を考えたり、さらに問題意識をもったりするなど主体的に学習に取り組んでいる。	

家庭へのお願い

○理科は、身近な自然や生活経験から疑問をもち、どうなるのか予想しながら観察や実験をすることが大切です。ふだんの生活から、「何でだろう。」「不思議だな。」と感じたことを一緒に考えてください。

第5学年 音楽科学習計画（シラバス）

【第5学年 音楽科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① にっぽんのうた みんなのうた ② 和音や低音のはたらき ③ 音のスケッチ ④ アンサンブルのみりよく（合唱） ⑤ アンサンブルのみりよく（オーケストラ）	① 歌詞の内容から様子を思い浮かべ、旋律の流れや曲想を生かして歌い方を工夫する。 ② 音の重なりや和音、低音の動きと曲想との関わりを感じとり、表現の仕方を工夫して演奏する。 ③ 和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴を理解して、音楽の仕組みを用いて表現する。 ④ 曲想やその変化を感じ取りながら、思いや意図をもって、想像豊かに歌う。 ⑤ 楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取り、想像豊かに鑑賞する。
2学期	⑥ パートの役わり ⑦ 日本の音楽 ⑧ 豊かな表現 ⑨ 音のスケッチ ⑩ にっぽんのうた みんなのうた ⑪ 音楽のききどころ ⑫ 思いをこめた表現	⑥ 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して演奏する。 ⑦ 歌詞の内容と言葉のまとまりを生かしたり、曲にふさわしい歌唱表現をしたり、日本の歌曲の美しさを味わう。 ⑧ 歌詞の情景を思い浮かべ、曲にふさわしい歌い方や声の出し方を考えて、自然で無理のない響きのある歌唱表現をする。 ⑨ 声が重なり合ういろいろな響きの特徴や違い、全体の響きのバランスに気を付けながら、音の組み合わせを工夫して演奏する。 ⑩ 旋律の特徴を感じ取って、曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら歌う。 ⑪ 楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取り、想像豊かに鑑賞する。 ⑫ 音楽の縦と横との関係や旋律の特徴を感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して演奏する。

身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・音色、旋律や強弱などと曲想との関わりを理解して、自然で無理のない響きのある歌い方や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。 ・リズム、旋律や音の重なりなどと曲想との関わりを理解して、各声部の楽器の音色や楽器の重なり合う響きに気を付けて、音を合わせて演奏することができる。 ・音色や旋律、音階、拍などと曲想との関わりを理解して、日本の旋律の特徴に合った歌い方や、日本の音階を用いてまとまりのある音楽をつくることができる。	・発言 ・行動観察 ・演奏聴取 ・ワークシート
思考・判断・表現	・音色、旋律、強弱などと曲想との関わりを生かして、どのように歌うかについて考えている。 ・楽器の組み合わせ方や音の重ね方を工夫したり、演奏の仕方に思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いている。 ・音階や拍などと曲想との関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・曲の特徴を生かして歌う学習に主体的に取り組み、友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わっている。 ・友達と協働して音を合わせて表現したり、オーケストラの音楽を聴いたりする学習の楽しさを味わって主体的に取り組んでいる。 ・日本の音楽の特徴を味わって、それを生かした表現をしたり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習を通して、日本の様々な音楽への興味・関心を深めている。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート

家庭へのおお願い

○鍵盤ハーモニカやリコーダーを吹いた際の水滴を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。

○状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカやリコーダーの曲を家庭で練習してください。その際、お子さんの演奏を聴いていただけると励みになると思いますので、ご協力をお願いします。

○日常の生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

第5学年 図画工作科学習計画（シラバス）

【第5学年 図画工作科の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1 学期	① めざせ、ローラーの達人！ ② でこぼこの絵 ③ ビー玉、大ぼうけん ④ 形に 命を ふきこんで ⑤ 消してかく ⑥ 水の流れのように	① これまでに経験してきたローラー遊びや絵の具遊びの経験を生かして、自分なりの表現をすることを楽しむ。 ② 異なる手触りの様々な材料を画面に配置して貼り付け、凸凹の画面をつくることじたいを楽しみ、できた凹凸画面に液体粘土を塗り、凸凹の画用紙を作る。その白い凸凹の画面からイメージを膨らませて、絵具で表現する。 ③ 身の回りの材料を使って、ビー玉が転がる動きや仕組みを工夫して楽しくつくる。 ④ 動きが連続して見えるアニメーションの仕組みを生かして、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表現を工夫して楽しい作品をつくる。 ⑤ コンテで塗り込んだ画面を消しゴムで消しながら現れる形から表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、自分の思いに合う表し方を工夫して絵に表す。 ⑥ ガラスが溶けて流れる様子を想像しながら、焼き物にして表したい形を見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
2 学期	⑦ 季節を感じて（全校写生会） ⑧ 糸のこスライ ⑨ おもしろピンボード ⑩ 立ち上がり！ワイヤーアート ⑪ 彫り進めて重ねて ⑫ 宝島へ行こう！	⑦ 自然の景色から一人一人が感じたことを大切に、自分が見付けた対象の形や色の特徴を思いのままに表現する。 ⑧ 電動糸のこぎりの使い方を工夫して、自由に切り分けた様々な形の板に切込みを入れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、組み合わせて立体に表す。 ⑨ 電動糸のこぎりの経験を生かし、実際に自分で使うことを考え、使いやすく楽しいデザインのピンボードをつくる。 ⑩ 針金を曲げたり、立たせ方を工夫したりして形を変えながら、形などの造形的な特徴を捉えて、立体に表す。 ⑪ 彫ったり刷ったりしながら、形や色などの造形的な特徴を捉え、表し方を工夫して彫り進み、木版に表す。 ⑫ 宝島に行くための乗り物を考え、作り方を考え、材料などを工夫して立体的につくる。

身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。 ・表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
思考・判断・表現	・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現したり鑑賞したり活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価

家庭へのおお願い

○必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。

○持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。

○道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

第5学年 家庭科学習計画（シラバス）

[第5学年 家庭科の目標]		
(１) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。		
(２) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決しようとする。		
(３) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫している。		

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 毎日の生活を見つめてみよう ② クッキング はじめの一歩 ③ ソーイング はじめの一歩 ④ 整理整頓で快適に ⑤ できるよ、家庭の仕事 ⑥ ミシンで楽しくソーイング	① 毎日の生活を見つめて、家族の仕事にはどのようなものがあるのか考える。 ② 家庭科室のガスコンロを使って、湯をわかす。卵をゆでたり、青菜をゆでたりする。 ③ 針と糸を使って、玉結び、玉どめ、名前のぬい取りをする。いろいろな縫い方を調べ、小物の製作をする。 ④ 身の回りを整理・整とんする計画を立て、整理・整とんする。ごみを減らし、物を生かして使う工夫を考える。家庭にはどのような仕事があるか調べ、発表する。 ⑤ 自分にできる仕事を考え、工夫しながら継続的に実行する。 ⑥ ミシンを安全に操作し、直線縫いをする。布について調べ、計画を立てて、製作する。
2 学期	① 食べて元気に ② 生活を支える物やお金 ③ 着方の工夫で快適に ④ 暖かい住まい方で快適に ⑤ いっしょに「ほっとタイム」	① 食品に含まれる五大栄養素と体内での主な働きについて知る。バランスのよい食事について考える。伝統的な食事に欠かせないご飯と味噌汁の調理をする。 ② お金や物の使い方をふり返し、上手な買い方について話し合う。食品や衣服を買うときに気を付けることを調べ、上手な買い物についてまとめる。 ③ 季節に合わせて、快適に過ごすための着方の工夫について話し合う。 ④ 日光の役割を考えたり、温かく過ごす方法を調べたりする。 ⑤ 家族との触れ合いや団らんをした経験について話し合う。団らんをもつ計画を立てる。

身に付けさせたい力

評価の観点	家庭科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや生活時間の有効な使い方について理解できる。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解できる。 ・衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解できる。 ・製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解できる。 ・買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解できる。	・ノート ・発言 ・活動 ・実習
思考・判断・表現	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・楽しく食べるために日常の食事の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・身近な物の選び方、買い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ノート ・発言 ・活動 ・実習
主体的に学習に取り組む態度	・家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫し、実践しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、食事の役割について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。 ・生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	・ノート ・発言 ・活動 ・実習

家庭へのお願い

○調理や裁縫に関心もてるよう、ご家庭での家事の手伝いを計画的に取り組めるようにしてください。配膳や片付けなどの役割を与える、味噌汁の味付けを任せるなど、子供自身に任せることで興味関心が高まり、自信を付けさせることができます。
○自分が使う物の準備、後片付け、掃除など子供自身でできることを一緒に考え、実践させてください。
○家族のためにできることを一緒に考え、実践できることを一緒に取り組んでみてください。家族から感謝を伝えることで、自信と成長につながります。

第5学年 保健体育科学習計画（シラバス）

【第5学年 保健体育科の目標】

- (1) 運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方や心の健康・けがの防止について理解するとともに、運動の特性に応じた技能や、健康で安全な生活を営むための技能を身に付けることができる。
- (2) 「自分やグループの運動の課題」や「身近な健康に関わる課題」を見付け、解決のための方法や活動を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにしている。
- (3) ①約束を守り、約束を守り助け合って積極的に運動している。②仲間の考えや取り組みを認めている。③場や安全に気を付けて運動している。④自分の最善を尽くして運動している。⑤健康・安全の大切さに気付き自分の健康の保持増進や回復にすすんで取り組んでいる。以上5点の態度を養うことができる。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ② 陸上運動 ・短距離走・リレー・投の運動 ③ ボール運動 ・ベースボール型 ④ 器械運動 ・鉄棒運動 ⑤ 水泳運動 ・クロール・平泳ぎ ・安全確保につながる運動 ⑥ 表現運動 ・表現 ⑦ 体づくり運動 ・体の動きを高める運動 ⑧ 保健 ・心の健康	① 体ほぐしの運動では、その行い方を理解するとともに、手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりする。 ② 短距離走・リレーでは、走る距離やバトンの受渡しなどのルールを決めて競走したり、自己（チーム）の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、一定の距離を全力で走る。 投の運動では、思い切り遠くへ投げる。 ③ ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをする。 ④ 鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、前方支持回転、片足踏み越し下り、膝掛け上がり、前方もも掛け回転、逆上がり、後方支持回転、後方もも掛け回転、両膝掛け振動下りである。 ⑤ クロールでは、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐ。 平泳ぎでは、その行い方を理解するとともに、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長く泳ぐ。 安全確保につながる運動では、その行い方を理解するとともに、背浮きや浮き沈みをしながら、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮く。 ⑥ 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりする。 ⑦ 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。 ⑧ 心の健康については、心は発達する、及び心と体には密接な関係があることについて知る。また、不安や悩みへの対処にはいろいろな方法があることを知る。
2 学期	⑨ 表現運動 ・フォークダンス（民謡を含む） ⑩ 陸上運動 ・ハードル走 ⑪ 陸上運動 ・走り幅跳び ⑫ 体づくり運動 ・体の動きを高める運動 ⑬ 器械運動 ・マット運動 ⑭ 器械運動 ・跳び箱運動 ⑮ ボール運動 ・ネット型 ⑯ ボール運動 ・ゴール型 ⑰ 保健 ・けがの防止	⑨ フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。 ⑩ ハードル走では、インターバルの距離やハードルの台数などのルールを決めて競走したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、ハードルをリズムカルに走り越える。 ⑪ 走り幅跳びでは、試技の回数や踏み切りゾーンの設置などのルールを決めて競争したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶ。 ⑫ 体の動きを高める運動では、体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解するとともに、自己の課題を踏まえ、直接的に体力の向上をねらいとして、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。 ⑬ マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。基本的な技とは、開脚前転、補助倒立前転、伸膝後転、倒立ブリッジ、ロングート、頭はね起き、補助倒立である。 ⑭ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりする。基本的な技とは、かかえ込み跳び、伸膝台上前転、頭はね跳びである。 ⑮ ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをする。 ⑯ ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをする。 ⑰ けがの防止について、けがの発生要因や防止の方法について知ることができる。

身に付けさせたい力

評価の観点	保健体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・運動の行い方を知り、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けることができる。 ・心の健康やけがの防止について理解することができる。	・観察 ・学習カード ・学習プリントや単元のテスト（保健領域）
思考・判断・表現	・自分やグループの運動の課題を見付けようとしている。 ・課題解決のために活動を工夫している。 ・自分や仲間が考えたことを他の人へ伝えている。 ・心の健康やけがの防止についての課題を見付け、その解決方法を考えようとしている。	・学習カード ・仲間への声掛け ・観察
主体的に学習に取り組む態度	・約束を守り助け合って積極的に運動している。 ・仲間の考えや取り組みを認めている。 ・場や安全に気を付けて運動している。 ・自分の最善を尽くして運動している。 ・健康・安全の大切さに気付き自分の健康の保持増進や回復にすすんで取り組んでいる。	・発言 ・観察

家庭へのおお願い

- 毎日、体の柔軟のためのストレッチを行うようにしてください。
- 1 日 30 分以上は、体を動かす時間をつくってあげてください。
- なわとびや鉄棒は、年間を通してご家庭でも取り組んでください。

第5学年 外国語学習計画（シラバス）

【第5学年 外国語の目標】

- (1) ゆっくり話されたことに対して、自分のことや身近で簡単な事柄について、聞き取ることができる。
- (2) 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。
- (3) 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたりそれらに応じたりすることができる。
- (4) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。
- (5) 大文字、小文字を活字体で書くことができる。また、語順を意識しながら、簡単な語句や表現を書き写すことができる。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① Hello , friends. ② Happy birthday! ③ Can you play dodgeball? ④ Who is this? ⑤ Let’ s go to the zoo.	① 名前や好きなもの・ことなどについて伝え合う。 名前のつづりや好きなもの・ことについて聞き合う。 世界の名前などについて考え、世界と日本の文化を知る。 ② 誕生日や欲しいものについてのやり取りを聞く。 誕生日や欲しいものについて尋ね合う。 英語でバースデーカードを作る。 世界の一年について見たり、考えたりする。 ③ できることについてのやり取りを聞く。 できることについて尋ね合う。 「できることカード」を作って、自分のできることについて紹介する。 世界で使われているジェスチャー、文化について見たり、考えたりする。 ④ 身近な人のできることなどについてのやり取りを聞く。 身近な人の「できること」について紹介し合う。 「人物紹介カード」を作って、身近な人のできることや性格などについて紹介する。 世界の言葉や、世界で働く人々について見たり、考えたりする。 ⑤ 場所を尋ねたり、答えたりするやり取りを聞く。 好きな施設などを尋ね合ったり、道案内をしたりする。 町を自分で考え、道案内をする。 世界の標識や文化などについて見たり考えたりする。
2 学期	⑥ At a restaurant. ⑦ Welcome to Japan. ⑧ Who is your hero. ⑨ スピーチコンテスト	⑥ 丁寧な注文の仕方や、値段の尋ね方を聞く。 丁寧な表現で注文したり、会計したりする。 日本各地の名物を選んで、丁寧な注文の仕方で購入物をするシミュレーションをする。 世界の食文化などについて見たり、考えたりする。 ⑦ 日本の四季や文化についてのやり取りを聞く。 行きたい日本の場所などについて尋ね合う。 「観光案内カード」を作り、日本の素敵なところを紹介する。 世界に広がる日本文化について見たり、考えたりする。 ⑧ 日常生活や憧れの人についてのやり取りを聞く。 日常生活や憧れの人について尋ね合う。 日本生まれのヒーローについて見たり、考えたりする。 ⑨ 学んできたことを生かし、自分のことを紹介する文章を考え、スピーチする。

身に付けさせたい力

評価の観点	外国語で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・ゆっくり話されたことに対して、自分のことや身近で簡単な事柄について、聞き取ることができる。 ・活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。 ・大文字、小文字を活字体で書くことができる。	・ワークシート ・観察 ・発表や対話テストのやりとり ・ペーパーテスト
思考・判断・表現	・日常生活に関する事柄について、自分の考えや気持ちなどを、基本的な表現を用いて発表している。 ・自分のことや、日常生活に関する事柄について、基本的な表現を用いて、伝え合っている。 ・学習した基本的な表現や語句を使って、相手に伝える内容や表現を考えている。	・観察 ・発表や対話テストのやりとり
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションをとろうとしている。 ・自分や相手のこと、身の回りの物に関する事柄について、質問をしたり、答えたりしようとしている。 ・積極的に活動に参加し、外国語を発音して、慣れ親しもうとしている。	・観察 ・振り返りカード

家庭へのおお願い

○英語に触れる機会を作ってください。
例…音楽、TVなどで構いません。

○家庭学習などを通して、生活の中で見付けた英語をノートに書き写したり、調べたりする活動をしてください。

第5学年 総合的な学習の時間 学習計画（シラバス）

第5学年 総合的な学習の時間科の目標】
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。
（２）実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめたり、表現したりしている。
（３）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① ズームイン岩井	① 岩井自然体験教室に向けて、岩井周辺の様子を調べる。 岩井自然体験教室に向けて、計画を立てる。 岩井自然体験教室で学んできたことをどのようにまとめればよいか考え、まとめる。
	② SDGsについて調べよう	② SDGsとは何か調べる。 SDGsで気になったテーマについて、さらに詳しく調べる。 調べて分かったこと、それに対して思ったことなどをまとめる。 伝えたいことをまとめて発表する。
	③十条の伝統を引き継ごう	③ 高学年が引き継いでいく伝統「十条ソーラン」について知る。 ソーラン節について調べる。 十条ソーランを6年生から教わり、踊ることができるようにする。
2 学期	④ オリンピックパラリンピックについて調べよう	④ オリンピックパラリンピックの意義について知る。 さまざまな種目の競技方法や過去の開催国、世界記録について調べる。 調べたことをまとめて、発表する。
	⑤ みんなが安心して過ごせるまちを提案しよう	⑤ まちの中や日常生活の中にある問題点を考える。 どうしたら安心して過ごすことができるかについて調べ考える。 どのように提案すればよいか、まとめ方や文を考える。 まとめた内容を発表する。
	⑥ 科学・数学的な課題に対して調べてまとめよう	⑥ 科学的・数学的な課題を見付け調査したり、実験したりする。 分かったことを論理的にまとめ発表する。
	⑦ プログラミングで動かそう	⑦ 簡単なプログラミングについて学び、実際にプログラミングをしてみる。 トライ＆エラーを繰り返して、求めている動きになるように工夫する。

身に付けさせたい力

評価の観点	総合的な学習の時間で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・地域の自然のよさと課題、携わる人々の願いを理解することができる。 ・人々の思いや工夫を理解することができる。 ・学習端末の使い方を理解し、調べ学習などに活用できる。	・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト
思考・判断・表現	・自分たちを取り巻く地域社会に広く目を向けて課題を見出し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 ・多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、種類に合わせて紙面やICTで蓄積している。 ・いろいろな思考ツール等を用いて、集めた情報を整理し、情報と情報の関係を考えている。 ・他教科で培った表現力を活用し、目的に応じて手段を選択し、情報収集やまとめを行っている。	・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト
主体的に学習に取り組む態度	・他者と協働して探究活動に取り組み、協働の大切さに気付いている。 ・探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを生かしながら、協働して学び合っている。 ・地域との関わりの中で、自分にできることを見付け、実践に移している。	・ワークシート ・発言 ・活動 ・学習支援ソフト

家庭へのおお願い

○家庭でもSDGsについてお子さんと一緒に考えてください。

○お子さんが気になったこと、興味をもったとことを、自主学習で詳しく調べてノート等にまとめさせてください。

第5学年 道徳科学習計画（シラバス）

〔第5学年 道徳科の目標〕

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 泣いた赤鬼 ② 見えた答案 ③ お父さんは救急救命士 ④ ヒヤリ・ハット ⑤ 遠足の子どもたち ⑥ ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ ⑦ どうすればいいんだ ⑧ 心のレシーブ ⑨ 駅前広場は自転車置き場？ ⑩ クマのあたりまえ ⑪ 共有しちゃえ ⑫ イルカの海を守ろう ⑬ お母さんへの手紙 ⑭ かれてしまったヒマワリ ⑮ 流行おくれ ⑯ 一ふみ十年 ⑰ オーストラリアで学んだこと	① 友情、信頼について考える。 ② 正直、誠実について考える。 ③ 勤労、公共の精神について考える。 ④ 節度、節制について考える。 ⑤ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ⑥ 希望と勇氣、努力と強い意志について考える。 ⑦ 公正、公平、社会正義について考える。 ⑧ 友情、信頼について考える。 ⑨ 規則の尊重について考える。 ⑩ 生命の尊さについて考える。 ⑪ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ⑫ 自然愛護について考える。 ⑬ 生命の尊さについて考える。 ⑭ よりよい学校生活、集団生活の充実について考える。 ⑮ 節度、節制について考える。 ⑯ 自然愛護について考える。 ⑰ 礼儀について考える。
2 学期	⑱ 卵焼き ⑲ 「折り紙大使」 一加瀬三郎 ⑳ 親から子へ、そして孫へと ㉑ ベートーベン ㉒ 遊園地のできごとから ㉓ ブランコ乗りとピエロ ㉔ そういうものにわたしはなりたい ㉕ 最後のおくり物 ㉖ 正月料理 ㉗ 「ありがとう上手」に ㉘ くずれ落ちた段ボール箱 ㉙ 感動したこと、それがぼくの作品 ーパブロ・ピカソ ⑳ 天から送られた手紙 ㉑ ベルーは泣いている ㉒ コースチャぼうやを救え ㉓ わたしたちのボランティア体験 ㉔ 一本松は語った ㉕ バトンをつなげ	⑱ 家族愛、家庭生活の充実について考える ⑲ 国際理解、国際親善について考える ⑳ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度について考える ㉑ 希望と勇氣、努力と強い意志について考える ㉒ 規則の尊重について考える ㉓ 相互理解、寛容について考える ㉔ よりよく生きる喜びについて考える ㉕ 親切、思いやりについて考える ㉖ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度について考える ㉗ 感謝について考える ㉘ 親切、思いやりについて考える ㉙ 個性の伸長について考える ⑳ 真理の探求について考える ㉑ 国際理解、国際親善について考える ㉒ 生命の尊さについて考える ㉓ 勤労、公共の精神について考える ㉔ 感動、畏敬の念について考える ㉕ よりよい学校生活 集団生活の充実について考える

身に付けさせたい力

道徳科を要とする道徳教育を通して期待される具体的な姿

- ・生活を振り返り、節度を守ることができる。
- ・友達と互いに信頼し、協力し合って助け合うことができる。
- ・自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たすことができる。
- ・生命はかけがえのないものであることを知り、協力し助け合おうとしている。
- ・誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接しようとしている。
- ・自らを振り返って成長を実感しようとしている。
- ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

家庭へのお願い

○善悪の判断の基準は、身近な大人の言動、振る舞いをまねるところから始まります。一番身近な家族がまずは、よき手本となれるよう、気を付けていただければと、思います。

○子供の言動は、その時々気分によって変わってきます。いつもと何か違うと感じたら、子供の心に寄り添って話を聞いてみてください。

○学校や家庭でたくさんの経験をしていく中で心が成長し、当たり前なことが当たり前に見える人へと導けるようたくさん褒め、諭していきましょう。